成長の軌跡

当社グループは、わが国の基幹産業である「自動車」や「家電」、またそれらを造る上で必要な「鉄鋼」・「非鉄」などの金属材料の表面改質というニッチな分野を担うことで発展してきました。

近年、私たちを取り巻く環境は、大きく変化しています。人体への悪影響が懸念されるさまざまな化学物質の使用規制、地球温暖化対策であるカーボンニュートラルの推進など、時代の変化に沿った開発を積極的に進め、新たな価値を創造するとともに、より良い未来の実現に貢献します。

※ パーカー熱処理工業(株)の登録商標

技術変遷

薬品事業	亜鉛めっき鋼板用一時防錆剤	家電・建材用途 クロム含有(耐食性：低～高)	家電用途 クロムフリー(耐食性：低～中)	建材用途 クロムフリー(耐食性：高)
薬品事業	塗装下地用皮膜剤	表面調整＋りん酸塩(りん酸塩結晶の微細化)	表面調整＋りん酸塩 低温化	液体表面調整＋りん酸塩 表面調整：結晶析出速度アップ、 高寿命化低温化	ジルコニウム化成 工程短縮(表面調整工程なし) Ni・Mn・Pフリー、化成スラッジ：少
薬品事業	塑性加工用潤滑剤	りん酸塩(スラッジ多い)＋金属石鹸	りん酸塩(スラッジ低減) ＋金属石鹸(加工カス低減)	工程短縮、低温化、スラッジなし
加工事業	塩浴軟窒化処理	イソナイト※ 塩浴窒化技術導入	パルソナイト 低温化	イソナイト　LS※ 耐焼き付き性向上、耐摩耗性向上
装置事業・その他	伸線用前処理ライン	非連続処理(バッチ処理)方式	連続処理(インライン処理)方式 生産性向上	連続処理(電解化成処理)方式 化成スラッジレス、生産性向上、品質向上

発展の歴史

1920年

1928年

創業者
里見雄二

パーカー・ラスト・プルーフ社(米国)から鉄鋼防錆剤の製造法および防錆加工法に関する特許権を譲り受け、これを実施普及する目的をもって日本パーカライジング(株)を設立

1965年

中日金属化工(株)を設立(台湾)

1970年

1972年

トランター社(米国)と熱交換器プレートコイルの製造販売ならびに技術援助契約を締結

1979年

ツルテックを設立(米国)
* 2013年に社名をパーカーツルテック(株)に変更

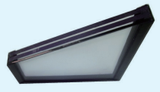
タイパーカライジング(株)を設立(タイ)

1980年

1987年

技術研究所を総合技術研究所と改称し、平塚市へ移転

・機能ガラスの製造販売を開始



1988年

ヘンケル社(米国)と技術提携を締結

1990年

1996年

秩父小野田(株)より粉体塗装事業を譲り受け、アイオニクス事業部として開設

1997年

塑性加工用一液潤滑剤発売

FINELUBE
リン酸塩＋金属石鹸に代わる次世代一液型潤滑剤

ベトナムパーカライジング(株)を設立(ベトナム)

1998年

鉄鋼用クロムフリー薬剤発売

PALCOAT
鉄鋼用クロムフリー皮膜剤

液体表面調整剤発売

プレパレンX
次世代の新システムに新型液体表面調整剤！

1999年

塑性加工　伸線用
電解化成システム発売

EPHOS
スラッジの無い、リン酸塩処理

2000年

2002年

日本カニゼン(株)を買収

2006年

自動車部品向け
ジルコニウム化成薬剤発売

PALLUCID
リン酸鉄・リン酸亜鉛に代わるジルコニウム表面処理剤

2008年

パーカーツルテックメキシカーナ(株)を設立(メキシコ)

2010年

2010年

日本パーカライジングインディア(株)を設立(インド)

2013年

中期経営計画スタート

パーカー表面処理技術を設立(中国)

2018年

パーカー興産(株)を吸収合併

ライフサイエンス事業を開始

・電気メス発売
・一般消費者向けに抗ウイルス・抗菌スプレー「Pal-Feel」発売

2020年

2019年

パーカー・サーフェス・テクノロジー・アジアパシフィックを設立(タイ)

2021年

Vision2030策定

2025年

新総合技術研究所開所予定

2028年

日本パーカライジング
創立100周年

2030年

2030年

Vision2030
連結売上高　2,000億円

2030年度
連結売上高(目標)
2,000億円

2024年度
連結売上高(目標)
1,300億円

売上高の推移
※ 1980年以前は単体ベース

環境規制・動向

高度成長期：生産優先 → 水質汚濁防止法公布 → オゾン層保護　フロンガス規制(モントリオール議定書) → 化学物質規制強化 → ELV指令　RoHS指令 → カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミー・ネイチャーポジティブ